

「どうして 盈進だけ？」

早いもので3学期がスタートして2週間が過ぎました。感染症や風邪等で体調をくずしている子どももいて、とても心配していましたが、先日やっと46名全員が元気な姿を見せてくれました。

さて、28日（水）は、「校内持久走大会」です。本番に向けて、10月から取り組んできた朝の走運動、体育の時間の長距離走の練習など、こつこつと練習を重ね、少しずつ体力をつけてきました。

また、12日（日）に開催された「ブルーラインマラソン大会」にも、たくさん子ども達が参加し、堂々の走りを見せてくれました。子ども達の頑張る姿を見ると、本当に嬉しい気持ちになります。そして、このような機会を大切にしなければいけないとも感じています。

持久走大会当日は道路を走るのので、事前にコースでの練習も2回計画していましたが、残念ながら1回目は雨のため実施できませんでした。22日（水）に試走ができました。2校時は、1・5・6年生の試走でしたが、スタート前に、子どもから次のように話しかけられました。

「校長先生 どうして盈進だけ持久走大会があるんですか？」

私自身も、何度も持久走大会や駅伝大会を経験してきているので、子どもの気持ちがよく分かります。そこで、私は次のように答えました。

「それはね あなたのためだよ！」

子どもは、張り切ってスタートの場所に走っていきました。

できれば、苦しいこと・きついこと・嫌なことは避けたいと誰もが考えると思いますが、時には、逃げずにチャレンジすることも必要になってきます。自分の気持ちと戦いながら、一つ一つ壁を乗り越えていくことで、子ども達の心は、より強くたくましく成長していきます。そのような機会を意図的につくっていくことも、学校の大切な役割だと考えています。

試走本番では、みんないい走りをしていました。最初からものすごいスピードで走る子ども、自分のペースを意識しながら走る子ども、応援の声に反応してスピードを上げる子ども、ゴールを前にラストスパートをかける子ども、それぞれが自分に合った力強い走りをしていました。



【試走】最後まで必死に頑張る子ども達



【朝の走運動】黙々と走り続ける子ども達



雨の日も休まず、体育館を走ります！

一番嬉しかったことは、走っているときの子ども達の表情です。「苦しいけど、最後まで頑張る！」という気持ちがよく伝わってきました。きっと本番でも、子ども達の必死に頑張る姿をたくさん見ることが出来ます。みなさんの力強い応援があれば、100%以上の力を発揮できていると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

子ども達の調子は上向きですが、当日の天気だけが心配です。週間天気予報をチェックしながら、なんとか雨が落ちてこなければと願う毎日です。